

—わたしたちの行動が次の時代のまちをつくる—

## まちづくり会議

# 開催報告

### 第4回

「まちづくりの種」を育てるために  
必要なことVol.2



阿賀町 まちづくり観光課 まちづくり係

## ■開催日時・場所

令和元年 1 1 月 2 8 日（木） 午後7時から午後9時

阿賀町公民館 講堂

出席者 25名 欠席15名

---

## ■第4回ワークショップのプログラム

1. みなさん企画にワクワクしてる？～前回の振り返りから～
  2. 「まちづくりの種」が芽を出すために
    - ・プロジェクト案を磨く
    - ・アクションプランを考える
  3. プレゼンの準備
  4. 本日の振り返り
- 

## ■第4回ワークショップの概要

前回のワークショップでチームの話し合いの様子や感想、会議後に受けた相談でチームのベクトルが合わせられず困っているチームや行政に事業をやってほしいという様子がうかがえたことから、現在チームで起こっている状況について共有し、課題を話し合う時間を最初に30分ほど取った。

チームの一体感の醸成度合、やる気を把握しやすいよう回答を色分けしてシートに貼るようにした。紙がピンク色なら、チームが目指す未来に向け全員でモチベーションをあげながら企画作りをしていることがわかる。その一方、水色があれば、目指すベクトルの違いや計画を行動に移すのに腰が上がりず気が重いという空気感がチーム内にあるということである。

大半のチームはこのチームでの活動を楽しく感じ、自前主義でやろうとの意気込みが感じられる回答結果になった。

チーム全体に一体感とやる気が醸成されているチームには、参考資料1を参考にプロジェクト案を磨き上げていってもらい、チームのベクトルが合わないチームや話し合いがうまくできていないチームには、スタッフが話し合いの手伝いをすることにした。

自分たちの計画を誰かがやってくれたら（行政がやってくれたら）いいのにと思っているチームはほとんどなかったが、本音としてはこの気持ちがどこかにある方が少なからずいることから、全体に向けなぜ今回自ら考え自ら動くことが大切なのかについて、書籍からの抜粋を参加者全体に改めて伝えた（参照 まちづくりで大切なこと）。

最後にアクションプランの立て方、プレゼンの準備について説明し、2月22日の発表に向けて自主活動をしながらワークを進めていってほしい旨を説明し、本日の振り返りを紙に書いてもらい本会を終了した。

---

## ■ 今回の振り返りについて

建設業の行事と重なってしまっただけ、建設業者を中心としたチームメンバーが不在となり、急遽テーマが近いチームでの話し合いに加わっていただき対応した方もいた。

着々と話し合いが進み、プロジェクト案から具体的なアクションプランの作成、製品の試作品を持ち込み試食をしているチームもある一方で、チームメンバーとの十分な話し合いの時間がなく、目指す未来を描けていないチーム、やってみたいことはたくさん思いつくものの、目指す未来が描けていないチームもある。

この「まちづくりの種シート」を完成させ「アクションプラン」をつくることが目的ではない。どんな未来を描き、どんなまちにしたいのか、そしてそのために自分たちで何ができるのか。この会議で出会った同じ思いを抱く仲間と出会い、思いを共有し、対話を繰り返しながら行動してもらうことが目的である。

テーマによっては、目指す未来のベクトルはおおよそ一致しているものの、1回2時間のワークショップで計4回、チーム内での対話の時間は8時間に満たないなかで、圧倒的に話し合いの時間が確保できていない。本業の仕事に従事し、家族との団欒の時間もあり、学生とは異なり本業を持つ中での自主活動の時間を確保することはなかなか困難である。

今年度の開催決定時期から逆算し確保できる開催回数、そして1回あたりに参加者が時間をさける時間を考慮すると、物理的な限界もあり仕方がないにせよ、主催者側のプログラム設計や時間設定がかなりタイトであったことは反省点である。







